



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

'92 11月号



オオタカ巣立つ —博物館の調査活動より—

■一昨年、平塚市土屋の山林でオオタカが巣を作っているのが発見されました。オオタカは、全国的にも個体数の減っている貴重な猛禽類で、繁殖が確認されたのは県内で初めてのことでした。平塚市としても、このタカの生息状況について調査を行っていくことになり、今年の春から博物館が担当して野外調査を開始しました。

■2月には、昨年まで2年間営巣した森に親鳥が帰ってきたことが確認されました。キーキッキキと聞こえる鋭い鳴き声は、これから繁殖に入るぞという宣言のように聞こえました。

■4月に入ると、2年間使ったのと同じ巣で親鳥が卵を抱いているようすが見られるようになりました。そして5月下旬には雛が巣の中で動いているのが発見されたのです。オオタカの雛は生まれた時は全身が白い綿毛に包まれており、鋭い嘴と目を別にすればとても

可愛いものです。

■雛は順調に育ち、6月下旬には巣を離れて、近くの枝を飛び移るようになりました。上にのせた写真はこの頃撮影したものです。オオタカの親鳥は背中が黒く、胸から腹は白くて細かい横縞がありますが、幼鳥は全身が茶色く、まるでトビのように見えます。

■オオタカは、関東地方では栃木県的那須高原、埼玉県狭山丘陵などで繁殖していますが、雛が密猟されることがあること、周辺の開発で生息環境が変化していることなどで、どこでもその生息が危機にさらされています。

平塚のオオタカが来年も戻ってきてくれるように祈らずにいられません。

写真：巣立ったオオタカの幼鳥

1992年6月28日撮影

沈まない太陽

11月7日
~1月10日

■日が短くなってきました

晩秋から初冬へと季節が進み、一年中で最も日暮れが早い、夕焼けが美しい時期となりました。11月中旬の太陽の高さは37度、南の空低く、柔らかな日差しです。冬はもうそこまで来ています。

■太陽から見た地球

朝、東から昇った太陽が一日のうちで最も高くなるのは12時少し前、ま南に来たときです。その時刻に地球を太陽の側から見ると、北極周辺は黒く見えます。そこは一日中、日のあたらない地域です。ひなたは日本のすぐ北で終わっているように見えます。一方、南半球はどうでしょう。南半球の季節は夏を迎えるところです。

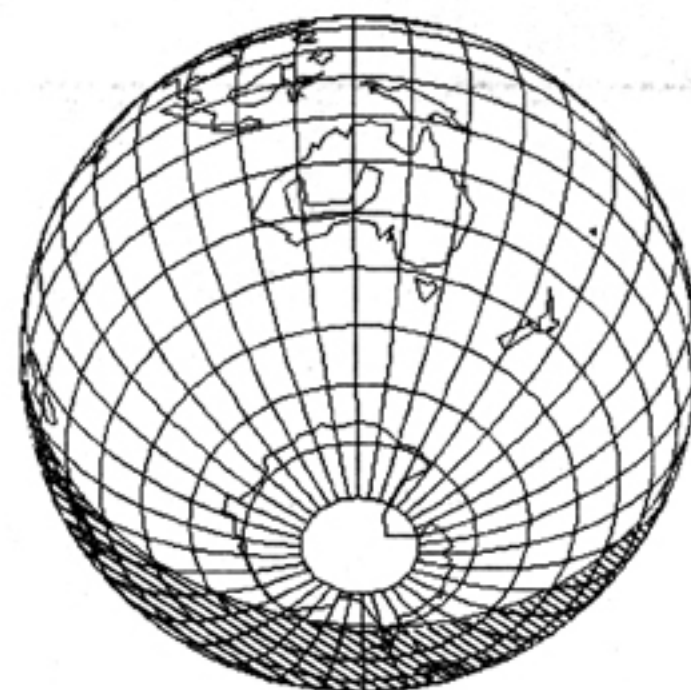


11月15日の地球 北緯35度 上空2万キロ
(中野主一著、マイコン宇宙旅行のプログラムを参考しました)

■太陽が一日中見える

地球の南半球が見えるようにすると、南極には一日中、日があたっているようすがわかります。太陽が沈まない世界です。

それでは地球に戻って、地上から空を見上げてみましょう。沈まない太陽、それも南半球です。太陽は平塚で見なれているような動きをしてくれるのでしょうか。プラネタリウムで地上からみる太陽の動きを、緯度を変えてそれぞれの地域にあわせて見てみることにします。なぜ日の当たり方が季節によって変わるのか、これもプラネタリウムでお話ししましょう。



南緯57度上空2万キロ

プラネタリウム利用案内

投影日： 毎週 土、日曜日

投影時刻： 1回目 11:00、2回目 14:00

観覧料： 100円

定員： 86名

★途中入場はできません。

★土曜の11:00の回は団体予約を受け付けています。詳しくは博物館までお問い合わせください。

★観覧券は1階受付でお求めください。売り切れの場合はご了承ください。

鉱物と岩石 -山本亮一コレクション-

11月1日(日)~11月29日(日)

■今回は「鉱物と岩石」をテーマに、山本亮一氏から寄贈された数多くの標本の中から代表的なものを展示し、皆様にご覧いただこうと思います。

■山本亮一氏は長年、全国の鉱山などを精力的に歩かれ、数多くの鉱物・岩石を収集され、現在も活躍されています。当博物館には5年ほど前から鉱物標本を中心に資料を何度となくご寄贈いただき、これまでの資料点数は、鉱物標本216種310点・岩石標本162点・化石標本31点・未固結標本3点の、合計506点にのぼっています。この中には、極めて稀にしか産出しないもの、あるいは既に採集することのできなくなった標本が数多く含まれ、また、山本氏が自ら見いだされた

日本で初めて発見された鉱物「ゲージ石」も見られ、たいへん貴重なコレクションです。

■丹沢山地や御坂山地など、相模川流域の鉱物・岩石も多く含まれており、現在行っている「相模川を歩く会」の地層観察やまとめにもたいへん参考になります。

■今回の展示では、成分による分類にしたがって代表的な鉱物を展示し、それらの鉱物が寄せ集まってできているさまざまな岩石や、相模川流域の鉱物を紹介したいと思います。

■博物館で収蔵している鉱物標本には、このほか木島 勇氏から寄贈された164点の資料もあり、また別の機会に展示したいと考えています。

平塚市史・平塚市民俗調査報告書

平塚市博物館 市史編さん係からのお知らせ

平塚市博物館市史編さん係では、平塚の歴史をわかりやすくまとめた『平塚市史』、平塚市内の民俗をまとめた『平塚市民俗調査報告書』を順次刊行しています。ご希望の方は、直接市史編さん室までお越し頂くか、現金書留にて頒布代金と郵送料をお送り下さい。市史編さん室では、書籍の見本をご覧頂けます。

申込先：〒254 平塚市浅間町12-41

平塚市博物館 市史編さん係

■好評既刊■

平塚市史 資料編	価格(送料)
----------	--------

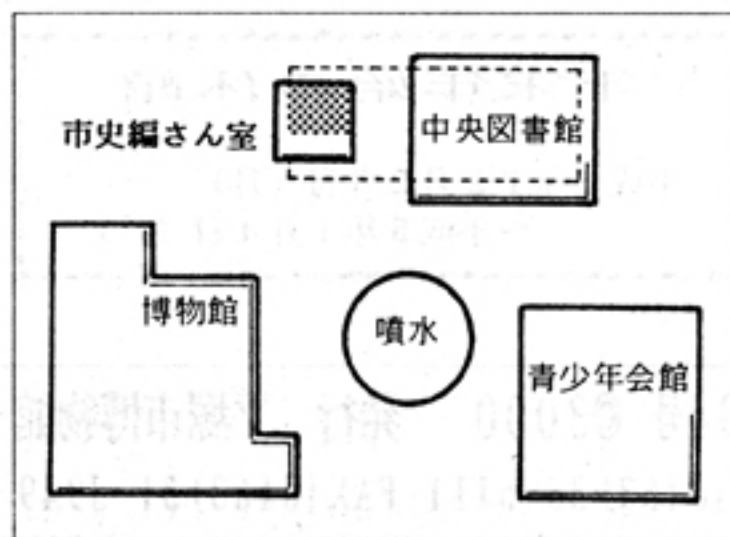
1 古代・中世	¥5,300(¥410)
2 近世(1)	¥5,000(¥410)
3 近世(2)	¥5,000(¥410)
4 近世(3)	¥5,000(¥410)
5 近代(1)	¥5,400(¥410)

平塚市史 通史編	価格(送料)
----------	--------

9 古代・中世・近世	¥5,600(¥410)
------------	--------------

平塚市民俗調査報告書	価格(送料)
------------	--------

4 金目・金田地区	¥1,400(¥310)
5 旭地区	¥1,300(¥310)
6 大野地区	¥1,300(¥310)
7 平塚(旧市内)	¥1,400(¥310)



博物館カレンダー

11月の行事予定

7	土	土曜観察会
8	日	古代遺跡を探す会
13	金	星を見る会 「秋の星座と星雲・星団」
14	土	古文書講読会 ナチュラリスト講座
15	日	相模川の生い立ちを探る会 (山北町) 体験学習「紙すき」
21	土	平塚の空襲と戦災を記録する会
26	木	裏打ちの会
28	土	古文書講読会 土曜観察会「新聞作り」
29	日	相模川を歩く会

12月の行事予定

6	日	古代遺跡を探す会
12	土	古文書講読会 ナチュラリスト講座
13	日	特別展記念行事 「漂着物を拾う会スペシャル」 相模川の生い立ちを探る会 (矢倉岳)
18	金	星を見る会「冬の星座」
19	土	体験学習「おかざり作り」 平塚の空襲と戦災を記録する会 土曜観察会
20	日	相模川を歩く会
24	木	天体観察会(日食) 裏打ちの会
26	土	体験学習「凧作り」 古文書講読会

11/1～11/29 寄贈品コーナー 「地質部門」
 12/1～1/30 寄贈品コーナー 「玩具資料」
 12/12～1/30 冬期特別展
 「砂浜の発見ー漂着物の世界ー」
 9/12～11/1 プラザリウム
 「星の一生 PartⅢ」
 11/7～1/10 プラザリウム「沈まない太陽」
 9/17～ プラザリウム 学習投影

■星を見る会「秋の星座と星雲・星団」
 アンドロメダ星雲、ペルセウス座二重星団
 等を望遠鏡でながめます。

開催日：11月13日(金)
 時間：19:00～20:30
 場所：屋上(科学教室集合)
 参加：自由
 備考：曇・雨天時中止

■ナチュラリスト講座
 「アシ原の鳥と自然
 ー大庭遊水池をフィールドにー」

開催日：11月14日(土)
 時間：18:00～20:00
 講師：高橋和也氏(藤沢市立大庭中学校)
 会場：講堂
 入場：無料

■体験学習「紙すき」
 伝統の技術による手すき和紙の作り方を学
 びます。
 開催日：11月15日(日)
 時間：9:00～15:00
 会場：科学教室
 参加費：800円(当日持参)
 申込：往復ハガキに住所・氏名・電話番号
 を記入のうえ、「紙すき」係まで
 〆 切：11月8日(日)
 定員：20名(応募者多数の場合抽選)

■体験学習「おかざり作り」
 正月の一文かざり・ゴボウジメ・玄関かざ
 りを作ります。
 開催日：12月19日(土)
 時間：10:00～15:00
 会場：科学教室
 参加：往復ハガキに住所・氏名・電話番号
 を記入のうえ、「おかざり」係まで
 〆 切：12月9日(水)
 定員：30名(応募者多数の場合抽選)

年末年始の休館

平成4年12月28日(月)
 ～平成5年1月4日(月)

『あなたと博物館』 17巻8号 通巻194号 ©3000 発行 平塚市博物館
 〒254 平塚市浅間町12-41 TEL(0463)33-5111 FAX(0463)31-3949